

社会福祉法人 福寿会  
平成29年度 事業計画

**【基本方針】**

今般の社会福祉制度改革におきまして、平成28年度は着実に制度を見直し改革を進めてまいりました。経営組織のガバナンスの強化、事業運営の向上、財務規律の強化等、平成29年度におきましても、引き続き粛々と進めていきたいと思っております。

また、地域における公益的な取り組みについても、従来より、様々な形で地域のニーズに対応させていただいてまいりましたが、今後は、法人を上げて、地域の日常生活又は社会生活支援を要する方々の福祉ニーズを模索し、有効的な社会貢献事業や福祉サービスの提供を進めていきたいと考えております。

また、平成29年度は、中長期事業計画に掲げております、昭和57年創立の平城園の老朽化に伴う建て替え「平城園新築工事」が始まります。工期につきましては、1年半から2年を要する大規模工事であり、平成30年にかけての法人の大規模な事業となります。今回の平城園建替工事は、既存改修工事、既存解体工事、本体新築工事の大掛かりな工事となります。今後様々な諸問題が起こってくると思いますが、ご利用者、近隣の皆様方の安全、安心を旨とし完成に向けて、万全の態勢で法人職員一丸となって、取り組んでいきたいと思っております。

また、サービスの質の向上については、建築に惑わされることなく、職員研修にも十分取り入れていきたいと考えております。特に、法人研修として、外部講師を招き、ハード面、ソフト面の両面から高品質のサービスを提供する事業所として研鑽を積んでいきたいと思っております。平城園は、建築中、いかに入所者の皆様方が安心して安全にそして快適に生活して頂けるか、また、ならやま園は、施設としても20周年という成人式を迎え、中堅施設としてこれからの歴史をどう作り上げていくかが課題となります。

そのためにも、法人運営にとって、最も重要である人材の育成については、より一層力を入れていきたいと考えております。人材確保については、現状両施設とも比較的充足し落ち着いているので、この状態を維持し、職員の質の向上に努めたいと思っております。

**【事業所別計画】**

## 特別養護老人ホームならやま園

### ○介護部門

- 1) 利用者一人ひとりの思いに耳を傾け、生活の中での不都合をできるだけ無くし、「その方らしい」生活ができるように支援する。
- 2) 介護職員の意欲を引き出すような研修を行い、働きやすい魅力的な職場作りを行い、離職を無くす。
- 3) リーダー・サブリーダーの研修を行い、新任の職員を指導できる中堅の人材を育成する。
- 4) 「地域包括ケアシステム」の中で特養の果たす役割を考え、在宅の事業所や病院、自治会など地域との連携を図る。
- 5) 地域の防災拠点としての役割を果たせるように大規模災害に対応する委員会を立ち上げ、対策を構築する。

### ○看護部門

- 1) 感染症対策の充実
- 2) 利用者・職員の健康管理

### ○個別機能訓練

- 1) 理学療法士による指導、評価を職員間で共有し、訓練の調整や見直しを行い個々の状態に合わせた個別機能訓練計画書を作成する。
- 2) 個別機能訓練計画書をもとに他職種と連携を図り、介護職員と協働で身体機能の維持、拘縮予防訓練等の個々の状態に合わせた訓練を継続して行う。

### ○栄養管理部門

- 1) 栄養ケア・マネジメントの実施により、利用者の健康維持に努める。
- 2) 日常生活に変化や楽しみを持って頂けるよう、家庭的で季節感のある食事や行事食の提供を行う。
- 3) 利用者の嗜好や嚥下状態を把握し、食事内容に反映できるよう努める。
- 4) 食中毒予防や感染症対策など、安全な食事の提供に努める。
- 5) 非常食を使い捨て容器と共に備蓄し、無駄なく入れ替えを行い、非常災害時に備える。

## 特別養護老人ホーム平城園

### ○介護部門

- 1) 新築工事に伴う、課題・変更点等に柔軟に対応し、スムーズな移行を可能にしていく。
- 2) 施設内外研修、支援制度の充実、新規施設の開設を見据えた人材育成及び配置の検討。
- 3) 医療部門との連携を密にとり、ミスのないきめ細やかな医療的ケアを実践する。
- 4) いつ来るかわからない災害に備え万全の体制を確保し地域の拠点としての機能強化を図る。

### ○看護部門

利用者の人権を尊重し「安全・安心」「納得・信頼」のある看護を提供する。

- 1) 利用者の健康管理と異常の早期発見
- 2) 感染症の対策

3) 利用者・家族に納得頂ける看取り介護の提供

4) 褥瘡発生予防の体制

#### ○機能訓練

1) リハビリ室での訓練とフロアでの生活リハビリを充実させる。

2) 利用者のできることを増やし、満足度・自立度を高める。

3) 拘縮予防の為、最低1日1回の離床を定着させる。

4) 離・臥床時の安楽な体位と良肢位の保持。

#### ○栄養管理部門

1) 旬の食材を盛り込んだ行事食、お誕生日食、選択食、好み食の実施により、季節の移り変わりや、生活の中に変化と楽しみのある食事を提供していく。

2) 栄養ケアマネジメントの実施、療養食の実施、経口維持食の実施により、利用者の栄養改善にとり組むと共に、加算獲得により経営面にも貢献する。

3) 災害に備え、当座の用に供する食料の備蓄を行う。

#### ○ボランティア部門

地域に開かれた施設づくりを目指し、これまで積極的な受け入れを実施してきたが、施設新築工事に伴い、ボランティアの皆様の安全確保を優先し、29年度は縮小方向でいく。

#### ○介護サービス支援室

1) 運営基盤の安定を目指し、稼働率の維持、向上を図る。

2) 様々なリスクに対応するべく、リスク管理の徹底、法令順守の確認を行う。

3) 先に繋がる人材育成を目指し、研修の充実及び適切な人員配置の検討。

4) 施設の設備全般の保守点検と安全確保に取り組む。

### ならやま園ショートステイサービス

1) 新規利用者の獲得はもちろん、リピーターを増やすため、職員の資質の向上、サービスの質の向上を目指す。

2) 日程調整を迅速に行い、より多くの方々にご利用いただけるよう努める。また空きベッドを積極的に利用し、緊急の受け入れにも対応できるよう各部署と連携を取っていく。

3) 家族との太いパイプ作りに努め、利用者に関する情報の共有を図る。また関係機関、職員と連携をとり、満足度の高いケアの提供を行う。

4) 利用者との豊かな関わりを持ち、「ならやま園のショートステイに頼めば安心だ」と頼られる施設を目指す。

5) 「また来たい」ショートステイを提供する。

### 平城園ショートステイサービス

今年度は新築工事の為、ショートステイ専用ベッド(3床)は稼働しないが、入院や退園空床ベッドへの有効活用を推進し特養全体としての稼働率の安定を図る。

### ならやま園デイサービスセンター

- 1) 出来る環境を増やし利用者満足へ繋げる。
- 2) 中重度者へのプログラムを増やす。
- 3) 居宅のケースを増やすべく、営業活動強化を行う。

### 奈良デイサービスセンター

- 1) 顧客満足度の向上
- 2) 職員育成の強化

### ならやま園ホームヘルプステーション

- 1) 利用者の生活の質の向上
- 2) 訪問介護員の質の向上
- 3) アンケートの実施
- 4) 介護予防・日常生活支援総合事業への移行

### 平城園ホームヘルプステーション

- 1) ヘルパー会議で、研修の実施や、支援時の情報共有を図るなど、質の高いサービス提供ができるようにする。
- 2) 利用者の満足度を向上できるような策の検討。
- 3) 介護予防・日常生活支援総合事業へ参入をし、幅広く利用者を獲得できるようにする。
- 4) 登録ヘルパーの人材確保に努める。

### ならやま園居宅介護支援事業所

- 1) 地域包括支援センターとの連携
- 2) 居宅介護支援事業所としてのレベルアップの継続
- 3) 地域活動の継続
- 4) ケアマネジメントの質の向上
- 5) 居宅介護支援の適正化についての徹底
- 6) 介護予防・日常生活支援総合事業、介護ケアマネジメント数について
- 7) 認定調査について

### 平城園在宅介護支援センター

- 1) 居宅介護支援事業所として研修参加、自己研鑽、評価等を重ね専門性を高め人材育成を図る。
- 2) 地域の医療機関、保健福祉等との他職種連携を図り社会資源を活用することで要介護者が

住み慣れた地域で、安全安心に生活が維持できるように支援し、地域包括ケアの取り組みにも積極的に参加する。

- 3) 地域福祉の拠点として情報を発信し、同法人各事業所と密に連携を取り、地域の活性化を図り介護予防者の掘り起こしに繋げていく。

## 福寿会配食サービス

平城園において施設の立替工事を行うことに伴い、今年度から「ならやま配食サービス」と「平城園配食サービス」を統合し、「福寿会配食サービス」として名前も新たにスタートすることになった。

昨年度のならやま園配食事業の業務と変わることなく、合流した両施設の配食サービス職員は、1.5倍に増えた配食サービス利用者への、安心安全の昼食サービスと安否確認の徹底に努めていく。

## ケアハウスニューライフならやま

- 1) 自立支援を目標に生活援助、生活環境を整える。
- 2) 介護保険サービス利用者に対して希望に応じた介護項目をケアマネジャーと相談する。
- 3) 生活の場として充実した日常生活を援助していく。
- 4) 趣味や興味など、余暇時間を楽しめるように支援を行う。
- 5) 不安や悩み事など、何でも相談して頂けるような関係作りに努める。

## サービス付き高齢者向け住宅ヴィラ秋篠

- 1) 「いつまでも・安心できる・自由な住まい」としての質を追求する。
- 2) 高齢者の在宅における新しいライフスタイルの構築を目指す。
- 3) 生活のニーズをしっかりと汲み取り、地域を含め支援していくことができる体制づくり。
- 4) 継続的な営業活動や、意向調査による入居率の維持。

## 平城園診療所

利用者の健康管理については、関連医療機関との連携を図りより重症な方への対応もスムーズに行っていく。また、年2回（春・秋）の定期健康診断をはじめ、感染予防、疾病予防に対しても日常的な健康管理を通して施設の衛生管理を図っていきたい。

職員の健康管理についても、定期的実施し、ストレスチェックをはじめとする職員の衛生管理についても、産業医が衛生管理者と連携を図り施設全体の衛生向上に貢献していきたい。